

# どんな仕事？



東北環境開発株式会社（鶴岡市）/ 水処理施設等管理・環境計量分析事業



【環境分析センター】山下 明哉さん  
鶴岡高専卒 / 2022年入社

分析と提案で、  
綺麗な水を守る輪を  
広げていく。

—— 担当業務について教えてください。  
水質分析が私の仕事です。工場排水には法律で定められた放流のための水質基準がありますし、川や海の水には「望ましい」とされる水質基準があります。企業や県からの依頼を受けて水をサンプリングして水質を分析、結果をとりまとめ、必要に応じて改善案も検討した上で報告・提案することが、具体的な業務内容になります。

—— 東北環境開発のことほどどのように知りましたか？ また、入社までの経緯を教えてください。  
高専のときに、就職担当の職員から教えてもらったのが当社を知ったきっかけです。高専で詳しく学んだ化学の知識が活かせる仕事であることを知り、入社したいと考えるようになりました。

—— 実際に入社して、仕事のどのような部分にやりがいを感じていますか？  
「水質汚染を止めてしまっているのではないか」「危険物質が漏れてしまっているのではないか」と本当に心配な気持ちでご相談くださるお客様がいるんですが、しっかりと現状をヒアリングした上で、解決策を提案しご安心いただけたときは、やっぱり嬉しいですね。

—— 大変さ、難しさを感じるのとはどんな部分ですか？  
専門的な内容を、どうすればわかりやすくお客様にご説明できるかは、いつも頭を悩ませている部分です。

—— お客様への報告も、分析担当の仕事ということですか？  
はい。会社によっては分業しているところもあると思いますが、当社は水を取ってくるところから分析、報告までを同じ人間が担当するのが基本です。報告内容を考えるのは確かに難しいんですが、分析担当が報告をすることで、細かな部分までお伝えすることができ、より実効



鶴岡高専  
おかべ部 美憂さん・4年(左)  
みたぼ部 双葉さん・4年(右)

的な対策をご提案できるのは間違いありません。  
—— 部署はどんな雰囲気ですか？  
年代関係なく仲がよく、とても仕事がしやすいです。釣りという共通の趣味があるセンター長とは、休みの日によく釣りに出かけるほどの仲です。  
—— 今後の展望を教えてください。  
今は排水の分析がメインですが、飲料水や大気などについても理解を深め、仕事の幅を広げていきたいですね。

—— 東北環境開発への入社を志望した理由を教えてください。  
私は中途入社なんですが、地元である鶴岡・庄内に貢献できる仕事かどうか、転職先選びの決め手になっていました。環境分野への注目は高まる一方で、鶴岡・庄内はもちろん、地球規模で社会にプラスを生み出す仕事だと考え入社を志望しました。

—— 普段はどんな業務をしているんですか？  
端的に言うと、お客様と社内の担当部署との橋渡し役、ということになりますね。お客様からご相談があれば、必要に応じて伺ってヒアリングをした上で担当部署につなぐ、見積書を作成して提出する、受注が決まった際は契約に必要な作業をする、という感じです。

—— 飛び込み営業のようなこともしているんですか？  
ゼロではありませんが、お客様からご相談があつて伺うというのがほとんどですね。  
—— どのときに大変さを感じる仕事ですか？  
お客様のご要望と社内の担当部署との折り合いがなかなかつかないときは、大変だなと感じますね。お客様はいくらでも急いでほしい、でも担当部署も手いっぱいということは珍しくないですね。  
—— 対外的にも対内的にも、本当にさまざまな人とやり取りがある訳ですもんね。そうですね。ただ、だからこそ得られる視点というのがあつて。調整が多岐に渡るのには確かに大変なんですけど、自分も思いつかない角度からのアドバイスをいただけることが多々あつて。仕事における関わりが多様な営業職の役得ですね。  
—— どんな人に向いている仕事だと思いますか？  
誠実で人あたりがいい人ですね。仕事に関する知識は、入社してからいくらでも身につけられますから、やはり大事なのは人柄だと思います。  
—— 今後の展望を教えてください。  
SDGsで世界的に環境保護の機運が高まる中、昨年50周年を迎え、当社はますます必要とされる会社になっていくと考えています。私たちが培ってきたノウハウを必要とところに確実にお届けし、地域社会に貢献していきたいです。

【営業部】高橋 稔人さん  
鶴岡中央高校 → 新潟医療技術専門学校卒 / 2019年入社



円滑な進行を支え、  
地域の豊かな自然を守る。





分析に必要なさまざまな器具・機器が並び、現分析センター。

式のカメラを使って遠隔で調査を行えるようになりました。他には、産業廃棄物の収集運搬、工場や事業所からの排ガス臭気などの測定や分析、水浄化製品の研究開発など、環境に関するさまざまな事業を展開しています。

— 会社の強みは、どんなところにあると考えていますか？

SDGsにより、環境負荷に対し、世界全体が厳しい目を向けるようになってきています。今後ますます加速するであろう社会の要請に、すべての事業が個別でも連携しても応えていけるものであることが当社の一番の強みだと考えています。また、幅広く事業を展開することにより、事業自体のサステナビリティを高められている点も強みだと考えています。

— 東北環境開発は、どんな人が活躍できる会社ですか？

好奇心と成長意欲が強い人ですね。事業が多岐に渡り、資格がないと携われな

い業務がたくさんあるため、業務を通じ成長することはもちろん、資格取得にも食欲にチャレンジすることで活躍できるフィールドがどんどん広がっています。資格手当など、取得を後押しする制度も整っていますので、チャレンジし続けた人にとっては最高の環境だと思います。

— 仕事をすることで、社員のみならず大切にしたいのはどんなことですか？

仕事に自信と誇りを持つことです。当社の仕事は決して華やかで目立つものはありませんが、地域の暮らしや産業にとってなくてはならないものであり、存

在意義は今後どんどん増していくはずなんです。先ほどの話にもつながりますが、自信と誇りを原動力にチャレンジを続け、成長していったらいいと思っています。

— 今後どのように会社を成長させていきたいと考えていますか？

現在展開している事業を大切にしながら特に力を入れていきたい事業分野は、環境に関わる測定・分析、下水道管路の調査・補修・更生の2事業です。前者については、環境配慮への高まりに伴いすでにニーズが増えてきていて、確実に対応できるようこの2月に東北最大級の規模の新分析センターを開設しました。後者については、八潮市の事故を繰り返さないよう、さまざまな自治体からのご要望にしっかりお応えしていく準備をしています。直近はこの2事業に注力していく想定ですが、時代に合わせて変化を続け、環境分野での地域貢献度をさらに高めていきたいですね。

取材後記

東北環境開発さんは、地域の暮らしを支える非常に重要な役割を果たしていることがわかりました。そのような会社で、社員のお二人が地元貢献したいという強い思いを持って働いていることは、すごくいいなと感じました。(岡部)

分析作業だけでなく、結果をお客様に説明し改善策を提案することも業務の一部という山下さんの話を聞き、意外に感じました。私も、高専で学んだことを活かせる職業に就きたいと考えていますが、プレゼン力も磨く必要があると感じました。(三谷)



東北環境開発 株式会社  
鶴岡市下清水字打越2-1  
tel.0235-24-3110  
https://t-kan.co.jp/



## 水と空気を守り、美しく豊かな庄内を未来へ。



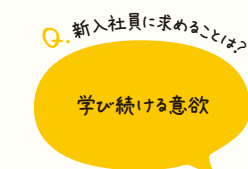
— 事業内容について教えてください。

水や空気、土など、自然環境の循環を管理と分析で守る。端的に言うと、これが当社の核になる事業です。当社の創業時からの事業に浄化槽の設置工事、定期点検・清掃があります。下水道の整備が進み現在はかなり減っていますが、かつて整備が進んでいない時代には、家庭などから出る生活排水を河川に流す前に綺麗にするための設備「浄化槽」の設置が義務づけられていました。その後、浄化槽関連事業のノウハウを活かし、農業集落排水処理施設の管理事業を始めました。これは、浄化槽を大きくしたような施設で、農村などにおける生活排水を集落単

位で処理し、農業用水への再利用や河川への放流を行うものです。その後始めたのが、山下が現在携わる水質分析の事業です。彼が話してくれた工場排水や海や川の水のほか、飲料水、温泉やプールの水質分析も行っています。

— まさに循環と分析の事業ですね。他には、どんな事業がありますか？

少し前に埼玉県八潮市で、道路が陥没しトラックが転落する大きな事故がありました。下水道管の老朽化が原因だと考えられています。あのような事故も含め老朽化による不具合を未然に防ぐため、下水道管の調査や補修の事業も手がけています。下水道管にはさまざまな太さのものがあ、太いものには直接人が入って調査を行っていましたが、現在は自走



代表取締役  
大瀧 光典さん



東北最大級の規模を誇る新分析センター。ニーズ拡大を見越した余裕のある設計となっている。

どんな会社？



東北環境開発 株式会社 (鶴岡市) 水処理施設等管理・環境計量分析事業